

第 24 回 新型コロナウイルス感染症対策本部会議（要旨）

日時：令和 2 年 4 月 1 7 日（金） 1 3 : 3 0 ~

場所：2 0 5 会議室

【各部からの報告について】

副市長：昨日、国が全国に緊急事態宣言を発令した。愛知県は 4 月 1 0 日に独自の緊急事態宣言を出しているが、休業要請以外は特に変化はないと理解している。今回は、犬山市の対応状況の確認及び情報共有を行う。また、給付金等の対応も確認する。犬山市対応一覧が次第に列記されているが、犬山市では何を対応しているのかを把握してほしい。また、市民向けと職員向けに分けて、この一覧の整理をしてほしい。協議事項に入る前に、学校等についての資料説明をする。

子育て監：子ども未来園と児童クラブについて、職種の限定はしていないが、共働きで園を休むのが難しい家庭を除き、協力を求めてきた。未来園は現在約 4 2 % の登園率で、児童クラブは現在 3 7 % となっている。

副市長：自主的な休みに協力いただけている状況となっている。休業要請に伴って自宅にみえる方に対し、さらに自粛をお願いする文書を出す対応でよいか。

市長：了承。

・ 新型インフルエンザ等対策行動計画との整合性について

副市長：例えば、要支援者対策については、現在緊急時生活支援チームを設置し、対応しているが、新型インフルの行動計画では、訪問診療等がさらに入っているため、対応できていないという判断か。

健康推進課長：現状はそうである。

市長：他市町では、物資の買占めやデマ情報への注意喚起、医療従事者への偏見はやめるなどの、行っていただきたいことと、行っていただきたくないことに分けて発信している自治体もあるので、その辺を工夫してほしい。現在の HP はコロナに関する情報が膨大すぎて、非常に見辛い。もうちょっと見せ方の整理をするように。

企画広報課長：現在対応中です。

副市長：新型インフルの行動計画は、フェーズに沿って対応が変わっていくので、この先、動きも変わってくるのが考えられる。呼びかけについては、工夫をしていくように。

【協議事項】

・ 休業要請に伴う協力金への対応について

経済環境部長：県議会が 4 月 2 4 日に臨時議会を開催する。予算議決の後、順次準備を進めていく。申請書については、東京都が作成している様式が転用可能。2 階のブースを使用して、2 ~ 3 班で対応する予定。郵送で対応するような話もでていますが、直接窓口で対応しないと対象の確認ができない。早ければ早いほどいいと考えているので、GW 中も対応予定。協力金対象でグレーな職種もあるため、もう少し精査していく必要があると考えている。

副市長：議会のスケジュールは確認するように。

・ 国民一律 1 0 万円給付への対応について

副市長：企画広報課で対応することとし、対象が全市民のため、給付専用チームで対応する。

・児童手当上乘せへの対応について

子ども未来課長：正式名称は「子育て世代への臨時特別給付金」となり、経費は100%国の補助。給付額は1万円で犬山市の支給対象児童数は1万200人のため支給額は1億200万円、システム改修費等も必要。6月30日か7月初め頃までには支払いを行いたい。他にシステム改修については情報政策課と、支払いでは会計課とも話を進めている。

副市長：情報政策課や会計課とは十分調整するように。

・妊婦へのマスク配布について

健康推進課長補佐：妊娠中に1月2枚配布するという通知があり、240枚届いている。一斉に配れる数ではないので、当面9月出産予定の方に一人一枚配布を考えている。27日までに各市町村必要数を県が調査しているため、合計数は現段階では不明。郵送費については国庫補助で2分の1補助となっている。

副市長：説明のあった給付金等については非常に大きな金額が動くため、補正予算が必要となる。

市長：休業の協力金については、通常のプロセスに捉われる必要はない。協力金については、1日でも早く、必要な方に届けるという姿勢で進める。場合によっては見切り発車でも構わない。もちろん議会の了承が必要だが、その前提で予算組みを想定してほしい。受付の話については、アナウンスの際に、来る時間が集中しないように考慮した案内をし、できるだけ、申請者に手間と時間をかけさせないように受付体制を構築してほしい。また、現在さまざまな国の支援があるが、隙間となるような必要な所への支援について、市独自の施策でカバーしてほしい。

経済環境部長：協力金の交付は、事業者なので一気に何十人もくるとするのは考えにくいですが、密な状況をつくらないように配慮する。基準に漏れた事業者に対しては、犬山市の実情を考えながら検討していく。

市長：受付は早いほうがよい。とにかく迅速に対応するように。特別給付金についても、一刻も早く市民の手元に届くよう考えてほしい。

副市長：ほかに何かなければ、これで会議を終了する。